

PPM-4™ CO₂ Controller

PPM-4はシンプルで安全設計、そして同コンセプトの商品の中でも最も手頃な価格のCO₂コントローラです。



C.A.P. offers a full range of equipment for the growing enthusiasts. The PPM-4 is the simplest, safest and most affordable CO₂ controller available today... from any manufacturer. Perfect for controlling LP or natural gas generators with PPM accuracy.

製品概要

- ・ PPM4は「センサー」と「プラグインコントローラー」の2パートからなります。
- ・ センサーとプラグインコントローラーは3mのコードで簡単に接続できます。
- ・ 電源を扱うプラグインコントローラーは安全重視の設計になっています。
- ・ センサーはCO₂濃度を3段階で表示します。
- ・ 栽培室のCO₂レベルをPPMの精度でコントロールするように設計されています。
- ・ 栽培室のCO₂濃度を1400~1450PPMの範囲に保ちます。
- ・ 較正はこれ以上なく簡単です。装置を外に出して較正ボタンを押すだけです。
- ・ PPM4は100Vの電源やCO₂レギュレーターと簡単に接続できます。

取り付け方法

1. プラグインコントローラーを電源に接続して下さい。電源が入ると「Power」と書かれたLEDが赤く点灯します。
2. センサーのコードをコントローラー上部のプラグに接続して下さい。このケーブルは、センサーからのデータ転送や、センサーへの電源供給に使われます。ケーブルを接続すると壁掛けセンサーのLEDが点灯します。
3. 付属のネジ釘を使って、壁掛けセンサーを希望の測定位置（一般的には天井と床の中間あたり）に取り付けて下さい。
4. CO₂レギュレーターの電源をプラグインコントローラーの電源ソケットに接続します。
*通電時は、コントローラーの「On」と書かれたLEDが点灯します。

動作

PPM-4は、最適なCO₂濃度（1450PPM）を保つように設計されています。栽培室が1400PPM以下になると、プラグインコントローラーのスイッチが入りCO₂が供給されます。CO₂が十分供給されて濃度が1450PPMを越えるとスイッチが切れます。植物がCO₂を必要とするのは植物に光が当たり光合成が行われる間です。室内栽培などで、ライトをタイマーで制御している場合は、タイマーにPPM-4を接続しておく、植物に光が当たる時間だけCO₂が供給されるようになります。

使用上の注意

水にぬれないようにして下さい。10アンペア以上の装置を繋いでの使用は、保証の対象外になりますのでご注意ください。

較正について

PPM-4は製造工場で較正され、最低でも3年は正しく動作します。（ただし、配送中の激しいショックなどで、較正が狂う場合があります）PPM-4は外部の空気に合わせ（自然界のCO₂濃度に合わせ）、簡単に較正を行うことができます。

較正のやり方

1. 屋外の、直射日光に当たらない場所に装置を持ち出して下さい。
2. プラグインコントローラーの電源を入れ、センサーを接続してから1分ほど置いて下さい。
3. 較正ボタンは、センサーの背面上部のスリットの、右から2番目の位置にあります。
4. ピンなど、細い棒を使って較正ボタンを8秒間押し続けると、すべてのLEDが点灯し、較正モードに入ります。LEDは、較正が完了するまでの間点滅を続けます。
5. 較正モードに入ったら装置から十分に離れて下さい（呼吸による影響を避けるため）。1~5分後、LEDの点滅が消えたら較正完了です。

***較正中は、センサー部に呼吸がかからないように注意して下さい。**

保証

製品自体の欠陥に限り、製品購入より半年間の保証が受けられます。

マニュアルを読んで取り扱い方をよく理解した上でご使用下さい。マニュアルに無い使用は行わないで下さい。

センサーやプラグインコントローラーのカバーを開いた場合は保証の対象外になりますのでご注意ください。

アンペア数の仕様を必ず守って下さい（10アンペア以上の装置は繋がないで下さい）。

